

令和6年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団体名	公益財団法人三重県文化振興事業団
施設名	三重県総合文化センター 三重県文化会館
内定額	20,642 (千円)

1. 基礎データ

(1) 開館日数・事業本数・貸館日数

項 目		令和5年度	令和6年度
開館日数		309	307
年間事業本数（※1）	主催事業	67	60
	公演事業	35	35
	（内、本助成対象事業本数）	19	12
	人材養成事業	9	8
	（内、本助成対象事業本数）	0	0
	普及啓発事業	12	12
	（内、本助成対象事業本数）	2	3
	その他 内容： 共催事業	11	5
貸館日数	ホールごとの貸館日数	927	921
	ホール名： 大ホール 座席数： 1903	309	307
	ホール名： 中ホール 座席数： 968	309	307
	ホール名： 小ホール 座席数： 322	309	307
	ホール名： 座席数：		
	ホール名： 座席数：		

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

(2) 施設利用者数・利用率

項 目		令和5年度	令和6年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	34,109	37,453
	公演事業	20,415	22,317
	人材養成事業	8,897	10,086
	普及啓発事業	4,797	5,050
	その他 内容： 記入してください	0	0
	貸館事業入場者・参加者数	157,142	138,952
	その他 内容： 共催事業入場者	10,297	4,080
	計	201,548	180,485
施設の利用率(%)		74.0%	74.9%

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設(美術館、図書館等)のみへの入場者数は除きます。

(3) 公演事業データ

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	入場者・参加者率	事業本数内訳						
						演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※4）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	35	54	20,415	63.0%	6	26	2	1			
	共催・提携公演（※2）	11	12	10,297	60.0%	3	5	1	1			1
	貸館公演（※3）	258	263	157,142	50.0%	14	122	6	2	5	18	91
	計	304	329	187,854								
令和6年度	主催公演（※1）	35	56	22,317	83.0%	8	25	1	1			
	共催・提携公演（※2）	5	6	4,080	80.0%	2	3					
	貸館公演（※3）	240	264	138,952	50.0%	11	126	7	3	6	13	74
	計	280	326	165,349								

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「貸館公演」における「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は概算で構いません。
※4 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

2. 公演事業の実績記録と自己評価

(1) 各公演事業における 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)

・ 令和6年度助成対象事業のうち公演事業について、助成対象事業ごとに自己評価を記入してください。

事業番号	事業名	入場者数	入場者率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	備考
公-01	佐渡裕指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,143	80.0%	顧客満足度(5段階評価上位1位)	60%	74.1%	ブルックナー交響曲第7番という三重では挑戦的なプログラムであったが、目標を大きく上回る入場者数と満足度を達成した。	
		実績値	1,818	127.2%	顧客満足度(5段階評価上位1位+2位)	95%			
公-02	三重音楽発信vol.11 制作オペラ「カルメン」	目標値	1,182	70.0%	顧客満足度(5段階評価上位1位)	60%	59.1%	10年ぶりの県民参加の制作オペラ。演出家に津市拠点の第七劇場・鳴海康平氏を抜擢するなど、スタッフ陣を三重ゆかり・なじみのスタッフにシフトし、公演を成功に導いた。	
		実績値	1,204	71.3%	顧客満足度(5段階評価上位1位+2位)	95%			
公-03	三重県文化会館セレクションシリーズ	目標値	1,746	50.0%	顧客満足度(5段階評価上位1位)	60%	75.5%	注目アーティストをセレクトする室内楽シリーズ。セット券の販売も好調で、目標を大きく上回る入場者数と満足度を達成した。	
		実績値	2,296	65.8%	顧客満足度(5段階評価上位1位+2位)	95%			
公-04	MIE Chamber Players	目標値	465	40.0%	顧客満足度(5段階評価上位1位)	60%	62.0%	三重県ゆかりのアーティストによる室内楽団。目標を上回る入場者数を達成した。	
		実績値	521	44.8%	顧客満足度(5段階評価上位1位+2位)	95%			
公-05	オンステージコンサートシリーズ	目標値	324	90.0%	顧客満足度(5段階評価上位1位)	60%	75.0%	シリーズ2公演ともほぼ完売となり、大ホール舞台上での極上のサロンコンサートとしてブランドが確立している。	
		実績値	332	92.2%	顧客満足度(5段階評価上位1位+2位)	95%			
公-06	第七劇場「ヘッダ・ガーブレル」	目標値	273	70.0%	顧客満足度(5段階評価上位1位)	60%	56.6%	準フランチャイズカンパニーの新作プロデュース公演。入場者数・満足度ともに目標未達であった。	
		実績値	211	54.1%	顧客満足度(5段階評価上位1位+2位)	95%			
公-07	MPAD2024	目標値	288	80.0%	顧客満足度(5段階評価上位1位)	60%	80.5%	人気のまちなかイベントとしてブランドが確立している。目標を大きく上回る入場者数、満足度を達成した。	
		実績値	369	102.5%	顧客満足度(5段階評価上位1位+2位)	95%			
公-08	老いのプレーパーク志摩市巡回公演	目標値	200	80.0%	志摩市による事業評価(5段階評価上位1位+2位)	90%	100.0%	‘介護を楽しむ’‘明るく老いる’を県内に波及させる巡回公演。受け入れ先の志摩市の尽力もあり大成功の出張公演となった。	
		実績値	288	115.2%					
公-09	地域劇場連携 松井周×菅原直樹「終点 まさゆめ」	目標値	240	80.0%	SNS反響	劇評・感想等10件以上	12件	岡山芸術創造劇場、さいたま芸術劇場との、高齢者演劇を牽引する3劇場の共同制作公演。入場者数は目標をわずかに下回った。	
		実績値	225	75.0%					
公-10	地域劇場連携 「初級革命講座飛龍伝」	目標値	240	80.0%	SNS反響	劇評・感想等10件以上	26件	地域劇場連携事業。2公演とも完売するなど大きな反響があった。	
		実績値	304	101.3%					

事業 番号	事業名	入場者数		入場者 率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	備考
公-11	木ノ下歌舞伎「三人吉三 廓初買」	目標 値	525	75.0%	顧客満足度(5段階評価上 位1位)	60%	76.5%	開館30周年記念プログラムとして開催。終演後 オールスタンディングで拍手が鳴り止まず、大 感動のステージとなった。		
		実績 値	580	82.8%	顧客満足度(5段階評価上 位1位+2位)	95%	96.6%			
公-12	た組「ドードーが落下する」	目標 値	240	80.0%	顧客満足度(5段階評価上 位1位)	60%	56.2%	注目の劇団の初の三重公演ということで、2公 演とも完売となった。		
		実績 値	303	101.0%	顧客満足度(5段階評価上 位1位+2位)	95%	80.9%			

3. 自己評価

評価項目①:創造性・企画性

評価の観点
・(企画力)地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・(制作力)優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・(発信力・影響力)圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・(レジデントカンパニー・アーティスト)当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら、事業類型ごとに自己評価を記入してください。

	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
公演事業	①劇場友の会(シアターメイツ)会員数 ②シリーズ・ブランド事業参加者数(公ー3, 5, 7) ③地域劇場連携事業の連携劇場・アーティストからの評価	①1,906人 ②2,358人 ③聞き取りにより概ね高評価を得る	①2,017人 ②3,028人 ③高評価を得た	劇場友の会(シアターメイツ)会員数はコロナ禍以降減少が続いていたが、魅力的な公演ラインナップにより4期ぶりに純増に転じた。 シリーズ・ブランド事業参加者数はコロナ禍以前の水準に回復し、目標を大きく上回ることができた。回を重ねても人気に衰えはなく、当館のシリーズ事業がブランド化され、県民に信頼されている。 地域劇場連携では、岡山芸術創造劇場ハレノワ、彩の国さいたま芸術劇場、北九州芸術劇場、サントミューゼなどの連携劇場から共同制作館として高い評価をいただけたほか、松井周氏、菅原直樹氏、マキノノゾミ氏らアーティストからも円滑な事業運営に高評価をいただいた。		
人材養成事業						
普及啓発事業	①全事業の参加者数 ②全事業の参加者満足度	①1,285人 ②5段階評価上位1位+2位 90%	①1,730人 ②92.6%	いずれの事業も目標を上回る参加者数で、参加者満足度も高かった。普-01、02、03の3事業ともに事業目的を達成することができた。		

(2) 「創造性・企画性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

「なりかわり標本会議」は全国的にも類似事業を見かけない新企画であり、「コミュニケーション改善につながり演劇の入口となるカードゲーム普及」、「地元でカードゲームを普及するファンリテーターの養成」「カードゲームそのものの舞台化」という、複合的な事業目的を意図して企画されている。非常に挑戦的な企画であったが、アウトリーチでカードゲームを様々なコミュニティで展開し、公募で集まった18人と講師陣と当館スタッフで、振り返りと意見交換を重ねることで、学校現場や行政機関から高い評価をいただけるまでに成長することができた。
このプロジェクトは2年で終了したが、養成したファンリテーターによるカードゲーム体験は今後も展開していく予定であり、2025年5月現在で既に7件の開催希望をいただいており、着実に成果につながっている。

評価項目②:国際性(任意)

評価の観点
・(国際プレゼンスの向上)海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流)アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組)在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

(2) 「国際性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

評価項目③:地域文化拠点機能

評価の観点
・(文化拠点)地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携)地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供)次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。 ・ホール利用サービス(貸館事業)の向上 ※ ・自由設定の観点(任意)
※ ホール利用サービス(貸館事業)を行っていない場合は不要

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評定	所見	対応・追加情報など
①社会課題アウトリーチプログラム参加者満足度(志摩市、熊野市ほか) ②社会課題アウトリーチプログラム参加者数(志摩市、熊野市ほか) ③制作オペラ公演関係機関評価 ④施設貸出サービス利用者満足度 ⑤施設全体稼働率	①5段階評価1位+2位 90% ②650人 ③5段階評価1位+2位 90% ④5段階評価1位+2位 83% ⑤80%	①93.0% ②1,976人 ③100% ④93.7% ⑤74.9%	⑤施設全体稼働率以外の評価指標は目標を大きく上回り達成することができた。 志摩市と共催した「老いと演劇事業」では、介護に寄り添う演技体験講座を3回、出張公演「あたらしい生活シアター」を1ステージ上演し、志摩市の行政機関、福祉関係者、劇場関係者に大きなインパクトを生み出した。 熊野市と共催した「新日本フィル29市町巡回事業」は、熊野市の全12小中学校で出張コンサートを開催したほか、鬼ヶ城センター、旧神上中学校などの名刹でのコンサート、新日本フィルメンバーと三重ジュニア管弦楽団が共演した熊野市民会館でのスペシャルコンサート、全てのプログラムが成功裏に終わった。		

(2) 「地域文化拠点機能」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

熊野市と共催した「新日本フィル29市町巡回事業」と「第74回みえ県展熊野移動展」は、熊野市が展開する熊野古道世界遺産登録20周年記念事業に位置付けられ、熊野市単独では成し得なかった魅力ある文化事業に、市長、教育長をはじめとする関係者から高い評価をいただいた。またアンケートにおいても初めて弦楽四重奏を間近で聴いた小中学生や、コンサート聴衆から「よく熊野市まで来てくれた」「一流の演奏会が熊野で開催されて嬉しい」などの感動の声を多数いただいた。

評価項目④:多様性とアクセシビリティ

評価の観点
・(プログラムの多様さ)プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ)アーティストやスタッフとして参画する人々の属性(性別、年代、居住地、他)が多様である。 ・(アクセシビリティ)障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
①※キャンパスシート利用者数 ※25歳以下限定で当日空席を千円で販売する割引制度 ②英字・点字プログラム配布公演数	①100人 ②14公演	①25人 ②14公演	①キャンパスシート対象公演をオーケストラ、オペラ、バレエ、伝統芸能の年間4本に設定し、イベントカレンダーや公演チラシで広報展開を図ったが、想定した集客にはつながらなかった。来年度は学生への訴求方法としてXやインスタグラムなどのSNS広報の強化を図りたい。 ②計画通り14公演で英字・点字プログラムを配布した。		

(2) 「多様性とアクセシビリティ」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

「子どもたちの文化活動の充実」が三重県の文化振興計画(令和6～8年度)の重点施策に取り上げられたことから、県と財団で協議を重ね、三重を代表する子どもアーティストが一堂に会し、親子みんなで楽しめるコンサート「三重のこどもニューイヤーコンサート2025」を企画した。出演はジュニア和楽器楽団「あまね」、三重県少年少女合唱連盟、三重ジュニア管弦楽団、三重県立白子高等学校普通科文化教養(吹奏楽)コースの4団体で、入場料は無料とした。事前応募は大ホール定員1,903人を上回る応募が殺到し、世代を超えて老若男女が集う新年祝賀のコンサートは大成功となった。

評価項目⑤:自由設定(任意)

①創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性 の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。

評価の観点

- (1) 令和6年度の自己評価
- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

評価項目⑥:運営体制と持続可能性

評価の観点		現状	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
「実現性」の評価項目より							
(ア)	(多様な財源の確保)予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	【令和5年度実績】 ①事業収入¥50,800,618- ②ファンドレイズ(文化庁助成除き) ¥13,469,000-	【令和6年度計画】 ①¥45,996,050- ②¥13,400,000-	①¥53,010,806- ②13,274,000-	年間を通じてチケット販売が好調で、事業収入は予算計画を上回った。		
(イ)	(広報・営業力)広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。	【令和5年度実績】 ①シアターメイツ(有料劇場会員) 1,906人 ②エムズネット(無料ネット会員) 7,424人	【令和6年度計画】 ①1,906人 ②8,000人	①2,017人 ②9,157人	有料劇場会員は3期ぶりに2千人台を回復。無料ネット会員ともに順調に伸びている。		
(ウ)	(他館連携)他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	【令和5年度実績】 ①市町連携・助成支援数9件 ②全国劇場連携数1件	【令和6年度計画】 ①15件 ②2件	①15件 ②2件	県立リーディングホールとして市町連携、助成支援を積極的に展開している。		
(エ)	(設置者)円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。	四半期ごとの事業報告会議開催	現状まま	現状まま	県と密接に連携し、意思疎通が図れている。		
「持続可能性に関するチェックシート」より							
(オ)	(芸術監督)芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	館長・梶吉宏が芸術監督の役割を兼ねている	現状まま	現状まま	安定している。		
(カ)	(長期的経営)長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。	館長・梶吉宏及び副館長・松浦茂之が経営実務者を兼ねている。	現状まま	現状まま	安定している。		
(キ)	(専門人材の確保)今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	館長、副館長のほか、音楽専門人材2名、演劇専門人材2名を配置している。	現状まま	現状まま	安定している。		
(ク)	(職制の整理)芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。	整理され、役割分担されている。	現状まま	現状まま	安定している。		
(ケ)	(世代間バランス)年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。	最年少が24歳で、20歳代2名在籍	現状まま	最年少が25歳で、20歳代2名在籍	令和7年度も新卒1名が新加入している。		
(コ)	(ジェンダーバランス)女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。	財団全体で課長以上の管理職13名中女性が5名(比率38.4%)	現状まま	現状まま	安定している。		
(サ)	(ワークライフ・バランス)仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	整備し、推進している。	現状まま	現状まま	安定している。		
(シ)	(コンプライアンス順守)情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。	コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。	現状まま	現状まま	安定している。		
(ス)	(ハラスメント防止対策)職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	ハラスメント防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	現状まま	現状まま	安定している。		
(セ)	(適正な契約事務)アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。	交わしている。	現状まま	現状まま	安定している。		

4. 総評

・ 団体の自己評価

当館が立てた4つのビジョンに対し、多彩で魅力的な事業プログラムを立案し、そのほぼ全ての事業プログラムで想定以上の成果が得られたと考えている。

【ビジョン①県民に愛され、誇りとなる劇場づくり 実現に向けて】
ブランド化されたシリーズ事業(ワンコイン、オンステージ、MPAD)をはじめとする独自色の強い企画と、拠点・レジデントカンパニー公演など多彩な事業プログラムを計画通り実施し、ほぼすべての事業で目標を上回る入場者数と高い満足度を達成することができた。

【ビジョン② 文化交流ゾーン連携と拠点機能の強化 実現に向けて】
他館連携事業では岡山芸術創造劇場ハレノワ、彩の国さいたま芸術劇場、北九州芸術劇場、サントミュージゼと共同制作やツアー公演を協働し、東海エリアを代表するハブ劇場として拠点機能を発揮できた。
また、地域連携事業では志摩市や熊野市との共催事業をはじめ、地元洋楽関係者と協働した制作オペラや「なりかわり標本会議」の事業展開において、県内リーディングホールとしての役割を発揮できた。

【ビジョン③ アートの社会的効用の発揮 実現に向けて】
超高齢社会と介護問題に焦点を当てた「老いのプレーパーク志摩市巡回公演」、教育や観光とコラボした「新日本フィル29市町巡回事業in熊野市」、教育や地域コミュニティに入り込んだ「なりかわり標本会議」と、全ての事業で参加者は計画を大きく上回り、参加者満足度も極めて高かった。県内各地で大きなインパクトを生み出すことに成功している。

【ビジョン④劇場を再び元気に 実現に向けて】
ホール公演の年間入場率は83%を記録し、コロナ禍以降の落ち込みから劇的に回復している。また主催事業の活性化に伴い施設稼働率も4期連続で上昇しており、年間稼働率は74.9%まで回復し、劇場に再び活況が蘇っている。

・ 所見

